

2021年度 理科シラバス

教科名		理科		教科書等	東京書籍
科目名		化学基礎	教材等		標準セミナー化学基礎(第一学習社)
単位数		3	履修学年区分		2年理系
履修区分		必修科目			
目標		日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
観点の趣旨		日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事象・現象を科学的に探求する技能を身につける。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を見につけている。
評価方法	行動の観察	◎	○	◎	○
	提出物・小テスト	○	○	○	○
	定期考査等	◎	◎	○	◎
	観点の重み(%)	30	20	20	30
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4	定期考査Ⅰ	序編 化学と人間生活 ①生活とかかわる物質について学ぶ 探究活動 1編 物質の成り立ち 1章 物質の探求 ①物質の性質と分離 ②物質の成分	・文明が金属の存在とともに発展したことを知る。 ・物質を対象とする学問である化学の特徴を理解し、プラスチック、繊維、食品保存、洗剤など身の回りにある物質を通して、学習の動機付けとする。 ・金属の製錬について、インターネットを利用して調査する。 ・物質は混合物と純物質、化合物と単体などに分類されることを学習する。また、物質の三態変化が熱運動の激しさが変わることによって起こることを理解する。		
5	定期考査Ⅱ	2章 物質の構成粒子 ①原子の構造 ②電子配置と周期表 3章 物質と化学結合 ①イオンとイオン結合	・原子の構造と元素の周期律を理解し、周期表の成り立ちについて学習する。 ・イオンの種類と生成を学び、結合、結晶、結晶の利用を理解する。		
6		②金属と金属結合 ③分子と共有結合	・金属結合、金属結晶について理解し、金属の利用を学ぶ。 ・共有結合と分子の形成について学習する。		
7	定期考査Ⅲ	④共有結合の結晶 ⑤分子からなる物質の利用 探究活動	・分子からできている物質、さらに分子結晶、共有結合の結晶について理解する。 ・化学結合の種類によって、物質を分類できることを知る。		
9		2編 物質の変化 1章 物質と化学変化 ①原子量・分子量と物質質量 ②化学変化の量的関係 探究活動	・元素の原子量を理解し、分子量、式量の求め方を学習する。 ・物質とその応用を理解する。 ・物質の溶解と濃度について学習する。 ・状態変化と化学変化の違いを理解し、化学反応式の作り方を学ぶ。 ・化学反応における量の関係を探究活動を通して理解する。		
10	定期考査Ⅳ	2章 酸と塩基 ①酸と塩基 ②水素イオン濃度とpH	・酸と塩基の定義を理解する。 ・酸・塩基の強さと水素イオン濃度の関係を理解する。		
11		③中和と塩 ④中和反応の量的関係と中和滴定 探究活動	・中和を理解し、塩の種類を学習する。 ・中和の量的関係について公式を用いて処理することができる。 ・中和滴定の操作を習得し、量的関係を理解する。		
12	定期考査Ⅴ	3章 酸化還元反応 ①酸化と還元	・酸化還元の定義を理解する。 ・酸化剤、還元剤について学習し、それらの反応を理解する。		
1		①酸化と還元 探究活動	・酸化還元反応における量的関係を理解する。 ・金属のイオン化傾向に基づいて、金属の反応性を学ぶ。 ・金属の反応性について探究活動を通して理解する。		
2		②酸化還元反応の利用 探究活動	・酸化還元反応を利用した電池の仕組みについて学ぶ。 ・酸化還元反応を利用して金属が製錬されることを学習する。 ・探究活動を通して酸化還元反応の量の関係を理解する。		
3		②酸化還元反応の利用	・電気分解が酸化還元反応であることを理解し、その反応から量的関係を知る。		

2021年度 理科シラバス

教科名		理科		教科書等	実教出版『生物基礎新訂版』 実教出版『生物 新訂版』
科目名		生物	教材等	アクセスノート生物基礎 エクセル生物総合版	
単位数		3	履修学年区分	2学年(理系)	
履修区分		選択科目			
目標		・生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解に深め、科学的な自然観を育成する。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
観点の趣旨		生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。。
評価方法	行動の観察	◎	○	◎	○
	提出物・小テスト	○	○	○	◎
	定期考査等		◎	○	◎
	観点の重み(%)	20	30	20	30
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4	定期考査Ⅰ	『生物基礎』 3編 生物の体内環境の維持 3章 免疫	・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。		
5	定期考査Ⅱ	『生物』 1章 生命現象と物質 1節 細胞と分子 2 生命現象とタンパク質	・免疫にタンパク質がどのように関わっているかを理解する。		
6	定期考査Ⅲ	『生物基礎』 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 2章 バイオームとその分布	・陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・気候と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを学習する。		
7	定期考査Ⅳ	『生物』 4章 生態と環境 1節 個体群とその変動	・個体群とその変動について理解し、生物群集の成り立ちと多様な種が共存するしくみについて理解する。		
9	定期考査Ⅴ	『生物』 2節 生態系	・生態系における物質生産とエネルギー効率および物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。・生物多様性の意味およびそれを減少させる要因について理解し、生物多様性が重要であることを認識する。		
10	定期考査Ⅵ	『生物基礎』 4編 生物の多様性と生態系 3章 生態系とその保全	・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。		
11	定期考査Ⅶ	『生物』 1章 生命現象と物質 1節 細胞と分子	・細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴と、生命現象におけるタンパク質の重要性について理解する。		
12	定期考査Ⅷ	2節 代謝	・呼吸・光合成におけるエネルギー変換のしくみと窒素同化の概要について理解する。		
1	定期考査Ⅸ	3節 遺伝子情報の発現 1 DNA 2 DNAの複製	・DNAの構造と複製のしくみについて理解する。		
2	定期考査Ⅹ	3節 遺伝子情報の発現 3 タンパク質の合成 4 遺伝子の発現調節のしくみ	遺伝子の発現とその調節のしくみについて理解する。遺伝情報の変化について理解する。		
3	定期考査Ⅺ	3節 遺伝子情報の発現 5 バイオテクノロジー	バイオテクノロジーについて理解する。		

2021年度 保健体育科シラバス

教科名		保健体育		教科書等	なし
科目名		体育	教材等		なし
単位数		2単位		履修学年区分	2学年
履修区分		必履修科目			
目標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解
観点の趣旨		運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	行動の観察	◎	◎	○	○
	実技試験	○	○	◎	
	定期考査等				
	観点の重み(%)	30%	20%	30%	20%
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい	備考・変更点
4		体づくり運動 体育理論		体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	
5	定期 I	長距離走 体育理論		記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする。ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。(豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。	
6		球技 I 男子:ソフトボール 女子:バレーボール 体育理論		勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする。ことや、健康・安全を確保することができるようにする。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	
7	定期 II				
9					

10	定期Ⅲ	ダンス	<p>感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。</p> <p>ダンスの学習に主体的に取り組み、互いに共感し高め合うこと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすこと、合意形成に貢献することなどに意欲をもち、健康や安全を確保するとともに、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>
11	定期Ⅳ	<p>球技Ⅱ</p> <p>男子:サッカー</p> <p>女子:バスケットボール</p>	<p>勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする</p> <p>こと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする</p> <p>ことなどや、健康・安全を確保することができるようにする。技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>
12			
1			
2	定期Ⅴ		
3		選択	<p>心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る。</p> <p>各種目に意欲的に取り組み、チーム編成やルール作りに工夫して取り組めるようにする。</p>

2021年度 保健体育科シラバス

教科名		保健体育		教科書等	現代高等保健体育(大修館)
科目名		保健	教材等		大修館書店 現代高等保健体育ノート
単位数		1単位		履修学年区分	2学年
履修区分					
目 標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	運動の技能	知識・理解
観点の趣旨		生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策についての基礎的な事項を理解している。	
評価方法	行動の観察	◎	◎		
	実技試験		○	○	
	定期考査等		○	◎	
	観点の重み(%)	30%	30%	40%	
月	考査	学習内容(単元名)		学習活動とねらい	備考・変更点
4		思春期と健康 性意識と性行動の選択			
5	定期Ⅰ	結婚生活と健康 妊娠・出産と健康		生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。	
6		家族計画と・人工妊娠中絶 加齢と健康		生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行う必要があること。	
7	定期Ⅱ	高齢者のための社会的とりくみ			
9		医療制度と保健サービスの活用 医療制度と医療費		生涯を通じて健康を保持増進するためには、我が国の保健・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。	
10	定期Ⅲ	医療機関と医療サービスの活用 大気汚染と健康			
11	定期	水質汚濁と健康 土壌汚染と健康		社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。このため、様々な対策がとられていること。	

12	IV	健康被害の防止と環境対策 環境衛生活動のしくみと働き	は対策がとられていること。	
1		食品衛生活動のしくみと働き 食品と環境の保険と私たち	社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。 学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、環境衛生活動が行われていること。また、食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていること。	
2	定期 V	働くことと健康 労働災害・職業病と健康	社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康について理解できるようにする。	
3		健康的な職業生活	職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことが必要であること。	

2021年度 芸術科シラバス

教科名		芸術		教科書等	MOUSA①(教育芸術社)
科目名		音楽 I	教材等		
単位数		1		履修学年区分	第2学年(文系)
履修区分		選択履修			
目標		音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
評価の観点		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点の趣旨		音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	作品構想カード	○	○	○	○
	作品		◎	◎	
	鑑賞カード				◎
	観点の重み(%)	30	25	25	20
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4		楽しいキーボードアンサンブル(器楽) ・オーラ・リー ・木星	・ペアを組み気持ちを揃えながら、ともに一つの演奏を作り上げる喜びを味わう。 ・感性を働かせ、音色や強弱を工夫して表現する。 ・簡易伴奏機能を用い、コード(和音進行)の基礎を知覚する。 ・旋律や和声の美しさを味わいながら演奏する。		
5		・いつも何度でも ・見上げてごらん夜の星を ・川の流れのように 他			
6					
7		三線の響き②(器楽・歌唱) ～沖縄修学旅行に想いを馳せる～ ・安里屋ユンタ ・涙そうそう ・海の声 他	・三線に触れることを通して、琉球音階を知覚し、その独特な雰囲気を感じて弾き歌いをする。 ・琉球音楽の歴史や成り立ち、大陸(中国)との関わりについて主体的に学ぶ。 ・学習を通して、沖縄修学旅行への期待を高める。	一年時の継続	
9					
10		楽しいギター・アンサンブル(器楽) ・木星 ・翼をください ・いつも何度でも 他	・クラシックギター奏法の基礎(チューニング・運指・音階・コード等)を学ぶ。 ・フレーズの美しさを味わいながら表現する。 ・グループ学習を通して、ともに一つのアンサンブルを作り上げる喜びを味わう。		
11					
12					
1		楽しいリコーダーアンサンブル(器楽・鑑賞) ・C-a-f-f-e-e ・ボレロ ・リコーダーとオーケストラのための協奏曲 (A. ヴィヴァルディ) 他	・リコーダーのために書かれた作品を鑑賞し、その音色の美しさを味わう。 ・歌うような自然な息づかいによって、自分に合った音色や表現ができることを知覚する。 ・感性を働かせ、音色や強弱を工夫して主体的に表現する。 ・グループ活動を通して、気持ちや呼吸を揃え、アイデアを共有しながら、ともに一つの演奏を作り上げる喜びを味わう。	一年時の継続	
2					
3					

2021年度 芸術科シラバス

教科名		芸術		教科書等	116-日文・美I-305
科目名		美術	教材等	なし	
単位数		1		履修学年区分	
履修区分				第2学年	
目標		美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。			
評価の観点		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
観点の趣旨		美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習状況の観察	◎			◎
	作品の提出		◎	◎	
	作品構想カード	◎			◎
	鑑賞カード、小テスト	◎			◎
	観点の重み(%)	40	20	20	20
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4		オリエンテーション 色面構成	色についての基礎を学び、三原色カラーを用いた構成課題に取り組む。三原色を用いて表現したい色を作り出せるようになることを目的とする。		
5		作品鑑賞、模写	色についての基礎や混色の技法を学んだ上で、作品を鑑賞する。三原色だけで作った色で名作絵画の模写を行う。		
6		作品鑑賞、模写 作品鑑賞、コラージュ	色についての基礎や混色の技法を学んだ上で、作品を鑑賞する。三原色だけで作った色で名作絵画の模写を行う。 シュルレアリスムの作品などを鑑賞して構想を深め、独創的な発想で作品制作を行う。		
7		作品鑑賞、コラージュ	シュルレアリスムの作品などを鑑賞して構想を深め、独創的な発想で作品制作を行う。		
9		ピクトグラム	マークやピクトグラムなどのサインの機能について考え、認識されやすい効果的な色彩や形を使用し、デザインを構想する。日常における美術の存在意義を感じ取る。		
10		アニメーションの手法	アニメーション作品の鑑賞を通して、絵が動く仕組みを理解し、様々な方法を知る。フェナキストスコープの制作を通して、動きを工夫した作品を創造する。		
11		ゴム版画	ゴム版画の特性を理解し、独創的なデザインを思考する。完成作品を友人に年賀状として出すことにより、日常生活における美術の存在意義を感じ取る。		
12		篆刻	石の種類や道具の特性を理解し、独創的なデザインを思考する。また、完成作品を使用し年賀状を書くなどして日常生活における美術の存在意義を感じ取る。		
1		木工(箸作り)	木を用いた作品制作を行う。制作したものを実際に使う喜びを体感してほしい。		
2		切り絵 人物クロッキー	日本古来の美術品や建築物の良さを味わい、対象を省略・強調しながら構想を練る。白黒のバランスを考えながら見通しを持ち、計画的に制作する力を養う。		
3		人物クロッキー	クロッキーを通して人体の構造を理解し、素早く描写する能力を育む。		

2021年度 英語科シラバス

教科名		英語		教科書等	Power On I・II (東京書籍)
科目名		English Communication II	教材等		Power On I・II ワークブック 速読教材
単位数		4	履修学年区分		2学年
履修区分		必修科目			
目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。			
評価の観点		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
観念の趣旨		コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
評価方法	言語活動の観察	◎	○	○	○
	提出物・小テスト	○	○	◎	○
	筆記テスト		◎	◎	◎
	パフォーマンステスト	◎	◎		
	観念の重み(%)	25%	25%	25%	25%
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい		備考・変更点
4	I	Lesson 9 (C I) The Power to Unite People 南アフリカ共和国、マンデラ大統領 Let's Make a Speech! ②	・南アフリカ共和国の人種隔離政策の歴史とネルソン・マンデラ氏がどのように国をひとつにまとめたかについて学ぶ。 ・アパルトヘイトについて考える。 ・日本のおすすめの場所を紹介する 文法事項: 過去完了形 / 未来進行形 / 分詞構文(現在分詞) / 強調構文		
5	I	Lesson 10 (C I) Carving for the Future 世界遺産、サグラダ・ファミリア Sounds Interesting! ④音のつながり Paragraph Writing ③つながりを示す語句	・彫刻家外尾悦郎氏がどのように世界遺産サグラダ・ファミリアの彫刻に関わるようになったのか、成功への軌跡について学ぶ。 ・将来やりたいものについて発表する。 文法事項: 関係代名詞の非制限用法 / S+V+O+C[=過去分詞] / 関係代名詞what		
6	II	Lesson 1 (C II) Take a Shot or Not 写真撮影と記憶の関係	・写真を撮ることが記憶に与える影響と写真を撮らずに経験を記憶にとどめておく方法について学ぶ。 ・文法事項: It is (was) + 形容詞(名詞) + that節 / 関係代名詞what / 現在完了進行形		
7	II	Lesson 2 (C II) Ethical Fashion エシカルファッション	・エシカルファッション製品が何に配慮して作られているか学ぶ。また、エシカルになるために重要なことについて学ぶ。 文法項目: 助動詞+受け身+強調構文/S+V+O(=疑問詞+to不定詞)		
9	III	Lesson 8 (C I) Mr. Fija and Uchinaaguchi 危機に瀕する言語の保存・継承活動 Paragraph Writing ②つながりを示す語句 プレゼンテーション	・危機に瀕する言語であるウチナーグチとウチナーグチの保存・継承活動をしている比嘉光龍さんについて学ぶ。 ・第一言語について奈使用を的確に聞き取り、自分の意見を述べるができる。 文法事項: 現在完了進行形 / 関係副詞when / 仮定法過去		
10	III	Lesson 3 (C II) Landfill Harmonic リサイクルオーケストラ	・ランドフィル・ハーモニックが始まった経緯やカテウラの子ども達にもたらしている影響について学ぶ。 文法項目: 関係副詞where / 過去完了形/S+V(=使役動詞)+O+C(=原形不定詞)		
11	IV	Lesson 4 (C II) Icons of Scotland スコットランドの歴史と文化	・スコットランドの地理やキルトに関する歴史を理解するとともに、日本と関連する事柄について学ぶ。		
12	IV	Lesson 5 (C II) Japan's Secret Health Food 日本の秘密の健康食品 Lesson 6 (C II) Vegetable Factories 野菜工場	・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について学ぶ。 文法項目: 分詞構文(過去分詞) / 倍数表現 / 直前の文の内容を先行詞とするwhich / 形式目的語it(=to不定詞) ・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について学ぶ。 ・文法項目: 進行形の受け身 / It appears(seems)+that節 / 未来完了形 / 譲歩を表す副詞節		
1	V	Lesson 7 (C II) The Power of Color 色が持つ力 Lesson 8 (C II) Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors 卓球、みうみまペア	・身の回りで使われている色の視覚的効果と心理的効果について学ぶ。 ・文法項目: 同格を表す接続詞that / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞whoseの制限用法 / prpposeなど+that+S+V(=動詞の原形) ・平野美宇選手と伊藤美誠選手の経歴や彼女たちが成功するために大切だと考えていることについて学ぶ。 ・文法項目: 付帯状況を表すwith/while(when)(+S+be動詞)/to+have+過去分詞 / 助動詞+have+過去分詞		
2	V	Lesson 9 (C II) From Owning to Sharing 所有から共有へ Lesson 10 (C II) Solar Cooking 太陽のエネルギーでクッキング	・カーシェアリングの利点と、シェアリングが日本や世界でどのように広がっているかについて学ぶ。 ・文法項目: 強調表現(助動詞による強調) / It is(was) said +that節 / 形式目的語it(=that節) / 過去完了進行形 ・ソーラークッカーの仕組みと歴史、メリットと活用例について学ぶ。 ・文法項目: be動詞+to不定詞 / wish+仮定法過去 / 関係副詞whereの非制限用法 / 関係副詞whenの非制限用法		
3		Reading 2 Fly, Dakotra, Fly! 飛べ! ダコタ	・第二次世界大戦の終結から5ヶ月後、新潟県佐渡島に不時着したイギリス軍の輸送機の乗組員と村人たちの交流を読む。		

2021年度 英語科シラバス

教科名		英語		教科書等	My Way English Expression I・II New Edition
科目名		英語表現Ⅱ	教材等		Breakthrough キーストーン英文法 Scramble, Listening laboratory standard β
単位数		3		履修学年区分	
履修区分		必修科目		2学年	
目標		英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。			
評価の観点		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
観点の趣旨		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝える。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
評価方法	言語活動の観察	◎	◎		○
	提出物・小テスト	○	○		○
	筆記テスト		◎		◎
	パフォーマンステスト	◎	◎		
	観点の重み(%)	25	25		50
月	考查	学習内容(単元名)		学習活動とねらい	備考・変更点
4		Lesson 18,19,20(MY WAY I) 関係代名詞, 関係副詞		各種の関係詞を使って積極的コミュニケーションを図ろうとする態度の育成, また各種の関係詞を理解して適切な英文で表現する。	
5	定期 考查 I	Lesson 21(MY WAY I) 仮定法過去, 仮定法過去完了		仮定法過去や仮定法過去完了や語法を使って積極的コミュニケーションを図ろうとする態度の育成, また仮定法過去/仮定法過去完了を理解して適切な英文で表現する。	
6		Lesson 22,23(MY WAY I) その他の仮定表現, 部分否定, 準否定語		その他の仮定表現や部分否定/準否定/間接語法を理解し積極的コミュニケーションを図ろうとする態度の醸成, また部分否定/準否定を用いて適切な英語で表現する。	
7	定期 考查 II	Lesson 24,25(MY WAY I) 間接語法と時制の一致, 接続詞など		様々な接続詞の用法について理解を深め, それを使ってコミュニケーションを図ろうとする態度の育成, また適切な英文で表現する。	
9		Review Exercises5(MY WAY I) Lesson 1,2(MAY WAY II)現在形, 現在進行形, 未来進行形, 未来完了形, 過去完了進行形		様々な時制の用法を理解して, 適切な英語を書くこと。自分や友人の近況, 予定などについて適切な英語で表現する。	
10	定期 考查 III	Review Exercise 1 Lesson 3,4(MY WAY II) 助動詞1(義務, 必要など), 助動詞2(過去の状態, 習慣, 慣用表現)		様々な助動詞の表現を理解し適切な英語で表現する。自分や友人の家庭内の決まり事, 習慣, 旅行の思い出などを適切な英語で表現する。	
11		Lesson 5, Review Exercise2 Lesson 6(MY WAY II) さまざまな受動態の表現, 自動詞+不定詞, SVO+不定詞		完了形や進行形の受動態など発展的な表現や自動詞+不定詞などの様々な表現を理解して適切な英語で表現する。日本の伝統芸能やアニメや漫画などの日本の文化について英語で表現する。	
12	定期 考查 IV	Lesson 7,8,9 疑問詞+不定詞, 完了形の不定詞など, 動名詞を用いた様々な表現など 不定詞と動名詞, 不定詞を用いた表現		不定詞や動名詞の発展的な表現を理解し, さまざまな慣用表現を理解し, 英語で表現する。自分たちの地元や近隣, 国内外の美術に関する話題, 日本の伝統的な文化について適切な英語で表現する。	
1		Lesson 10 Review Exercise 3(MY WAY II) さまざまな分詞構文の表現		発展的な分詞表現や分詞構文などのさまざまな用法について理解し英語で表現する。スポーツに関する話題について適切な英語で表現する。	
2	定期 考查 V	Lesson 11,12(MY WAY II) 比較に関する様々な表現, 関係詞の非制限用法, 複合関係詞		比較級や最上級, asなどを用いたさまざまな慣用的比較表現や関係詞のさまざまな用法について理解し, 適切な英語で表現する。国内外の世界遺産や旅行に関する話題や各国の食文化について適切な英語で表現する。	
3		Review Exercise 4 Lesson 13(MY WAY II) 仮定法を用いた様々な表現		ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や仮定法を用いたさまざまな表現の用法を理解して適切な英語で表現する。趣味や嗜好, 食生活, 整理整頓など自分や友人の生活習慣などについて適切な英語で表現する。	

2021年度 情報科シラバス

教科名		情報		教科書等	最新 社会と情報 新訂版
科目名		社会と情報	教材等	基礎からはじめる 情報リテラシー 学習ノート	
単位数		2		履修学年区分	
履修区分		必修科目		2学年	
目標		情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。			
評価の観点		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
観点の趣旨		情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察	○	○	○	○
	制作物・プレゼン	◎	○	◎	○
	定期考査等		◎	○	◎
	観点の重み(%)	10	40	10	40
月	考査	学習内容(単元名)	学習活動とねらい	備考・変更点	
4		基礎からはじめる 情報リテラシー	ワープロソフト「ワード」の演習		
5	定期考査Ⅱ	教科書 1章 情報社会と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や知識についての意味を理解する。 ・情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 ・情報化が人類に利益と幸福をもたらしていることについて理解する。 ・情報化の「影」について、高校生に身近な事例で理解する。 ・情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について理解する。 ・情報とメディアの関係、メディアの分類を理解する。 ・各表現メディアの特性について理解する。 ・マスメディアやインターネット等、情報メディアの特性を理解する。 ・記録メディア、通信メディアなど伝達メディアの特性を理解する。 ・情報の信憑性、信頼性について理解する。 ・メディアリテラシーの意味を理解する。 ・CMなどメディアから受け取る情報を分析して発信者の意図を理解する。 ・情報伝達における適切なメディアの選択について理解する。 ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・個人情報の漏洩の実態、防止対策について学ぶ。 ・メールやSNSを利用する際のモラルとマナーについて学ぶ。 ・有害サイト、チェーンメール等、特に携帯電話利用の注意点を理解する。 ・知的財産権の構成について理解する。 ・産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各種権利の内容、及び例外規定について理解する。 ・著作権の侵害事例について理解し、著作権法を守る態度を身に付ける。 		
6					
7		基礎からはじめる 情報リテラシー	ワープロソフト「ワード」の演習		
9		基礎からはじめる 情報リテラシー	ワープロソフト「ワード」の演習		
10	定期考査Ⅳ	教科書 2章 情報機器とデジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の種類と特徴、インタフェースについて学ぶ。 ・デジタルカメラの原理や画像・映像の処理について学ぶ。 ・アナログとデジタルの意味について理解する。 ・デジタル化のメリットについて理解する。 ・情報を2進数で表現することについて理解する。 ・情報量の概念と単位について理解する。 ・2進数・10進数・16進数の相互変換ができるようにする。 ・文字のデジタル表現について理解する。 ・音声の標本化、量子化、符号化について理解する。 ・周波数・周期の関係や、標本化定理について理解する。 ・デジタルでのカラー表現の原理について学ぶ。 ・画像のデジタル化の仕組みと、解像度と階調と画質の関係を理解する。 ・図形のデジタル表現について理解する。 ・動画と立体のデジタル表現について学ぶ。 		
11					
12		基礎からはじめる 情報リテラシー	表計算ソフト「エクセル」の演習		
1	定期考査	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩によるメディアの発達の歴史について理解する。 ・メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 ・発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・電子メールやメッセージングアプリなどを利用したコミュニケーションと留意点について学ぶ。 ・回線交換方式とパケット交換方式の違いについて理解する。 ・パケット交換方式の長所と短所について理解する。 ・コミュニケーションを行う時のプロトコルについて学ぶ。 ・TCP/IPについて理解する。 ・クライアントサーバシステムについて学ぶ。 ・IPアドレスやドメインについて学び、実習でIPアドレスを確かめる。 ・WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解 		

2	<p>7 査 V</p>	<p>4章 コミュニケーションとネットワーク</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの仕組みについて学ぶ。 ・地図情報、動画配信サービス等のインターネットサービスについて学ぶ。 ・転送速度とデータ量の基本的な計算ができるようにする。 ・情報を正確かつ効率的に転送する工夫について理解する。 ・デジタル情報の圧縮について理解する。 ・コンピュータウイルスの種類や被害の状況、及びその対策について理解する。 ・情報の暗号方式(共通鍵方式と公開鍵方式)について理解する。 ・デジタル署名、電子透かし、アクセス制御などセキュリティ技術の方法について理解する。 ・情報のフィルタリングについて理解する。 ・企業や組織のセキュリティ対策の必要性を理解する。 ・情報セキュリティポリシーの目的・内容や実際の事例について学ぶ。 	
3		<p>基礎からはじめる 情報リテラシー</p>	<p>プレゼンテーションソフト「パワーポイント」の演習</p>	